

おれんじニュース

No. 395

2023年4月

CONTENTS

月例山行案内	2
お知らせ	3
定期トレーニング	4
立花山・三日月山	5
蘭牟田池6座縦走	6
伯耆大山	8
おれんじカレンダー	10

清水寺三重塔(九州オルレ みやま・清水山コース)

総会の結果によって以下に決定

2023年	4月	5月	時間	場所
専門部会	22(土)	27(土)	13:30~15:30	西諫早公民館
全体集会			15:30~16:30	

4月



月例山行案内

部	技術研修部	自然保護部	ひまわり部	山行部
月/日(曜)	4/9(日)	4/23(日)	4/28(金)	4/30(日)
山名(行事)	釈迦院 3333 段 大行寺山	古処山、屏山	烽火山	井原山・雷山
地 図	畝 野	甘 木	長崎東北部	雷山・背振
集合場所	西諫早駅 6:30	西諫早駅 7:00	西諫早駅 9:00	西諫早駅 7:30
難 易 度	体力 3/技術 1	体力 2/技術 1	体力 1/技術 1	体力 1.5/技術 1.0
帰着時間	18:00	17:30	15:30	18:00
歩行時間	3.5 h	5.5h	4.0h	4.5h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	マイカー	マイクロバス
宿泊施設	なし	なし	なし	なし
温 泉	なし	なし	なし	なし
参加費	4,000	4,500	800	5,000
申込期限	4/10	4/16	4/24	4/23
集 約	浦 田	田 村	田 中	大久保
備 考	日本一の石段 3333 段 釈迦院に続く表参道 「御坂」を登る。	花の百名山、古処山を 楽しめます。ツゲの 花、タニギキョウ、ミ ヤマハコベ他	江戸時代に長崎港警 備の為外国船の渡来 を急報する放火台が 造られ烽火山と呼ぶ	数多い花々を愛でる

5月

部	技術研修部	山行部	ひまわり部	自然保護部
月/日(曜)	5/3~5(水~金)	5/14(日)	5/19(金)	5/28(日)
山名(行事)	石鎚山	次郎丸岳, 太郎丸岳	矢 岳	烏帽子岳, 杵島岳
地 図	面河溪, 石鎚山	姫 浦 (天草)	島原、雲仙	阿蘇山
集合場所	西諫早駅 5:30	西諫早駅 6:30	西諫早駅 9:00	西諫早駅 7:00
難 易 度	体力 5/技術 3	体力 1/技術 1	体力 1/技術 1	体力 2/技術 1
帰着時間	5/5 23:30	19:00	15:00	18:40
歩行時間	5/4 9.0h-5/5 4.0h	3.5h-4.0h	3.0h	5.5h
交通手段	マイカー	マイクロバス	マイカー	マイクロバス
宿泊施設	旅館/山小屋	なし	なし	なし
温 泉	あり	なし	なし	なし
参加費	35,000	5,000	800	4,500
申込期限	募集 8 名(キャンセル待)	5/7	5/15	5/21
集 約	浦 田	高 田	田 中	田 村
備 考	溪谷美を楽しみなが ら、やがて厳しい登 り、石鎚登山の最 難関コースに挑戦。	ロマンの島々を周囲に配 した山々を廻る	池の原園地から登 り、宝原園に下る。 ミヤマキリシマ鑑賞	ミヤマキリシマ鑑賞 登山

事務局より

*新会員の紹介

3月1日付けで戸塚正勝さんと吉崎宏さんが入会されました。
お二人とも登山経験は十年ほどあり、体力も十分あります。
よろしく願いいたします。



◇ 長崎の文化桃カステラでひな祭り



室町時代末期に伝来したカステラと中国で桃を不老不死の果実として尊び、長寿の象徴とする風習が大正時代に長崎で融合した。
現在では初節句の祝いや結婚・出産祝いにも使用。

*草鞋教室・籠制作の参加者募集!

新年度から第2回草鞋教室と籠作りを始めます。申し込みは事務局

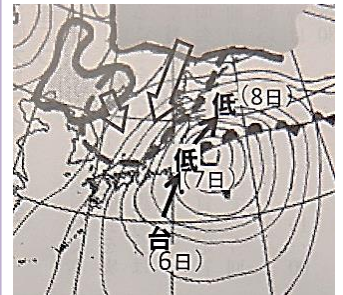


*山登りの為のやさしい気象講座からのまとめ

過去の事故例から**気象遭難が起きやすいパターンを10程度**(下表)に整理した。このパターンを**認識**しておけば気象遭難のほとんどは防げる。近年では地球温暖化の影響で、大雨による被害が大きくなっている。「線状降水帯」のような専門用語もよく耳にする。今後の気象情報の重要性や、その活用の仕方が大事で気象学が求められる時代になってきた。特に**山に登るなら台風後は高層天気を確認する**必要がある。

山は空に近く、空に浮かぶ地面であり、低気圧の雲、寒気の南下も感じられ生きた気象が山にある。気象を勉強するには最適な場所である。

登山時報 12月号から抜粋



2006年10月台風後の低気圧の北上で強い寒気が南下した。

◇ 気象遭難が起こりやすいパターン

パターン	要 点	代表的な事故例	備 考	
1	晴や秋の強い寒気	季節外れの雪やみぞれ、気温降下	1989/10/8 立山の大雪	8名死亡
2	雷	雷雲は数十分で発生、登山者急襲	1967/8/1 西穂高岳下山中	11名死亡
3	鉄砲水	現場は雨でなくても上流で発生	2000/8/6 谷川岳	1名死亡
4	集中豪雨	川や沢の増水、がけ崩れ、登山道途絶	2019/5/18 屋久島下山無理	約300名
5	強い低気圧・台風	一時的な天候回復に騙される	1972/3/20 富士山、凍死雪崩	24名死亡
6	冬型気圧配置の継続	ドカ雪、猛吹雪が数日・1週間継続	2010/1 奥穂高岳	2名死亡
7	冬の日本海低気圧	低気圧接近で疑似好天、後天候急転悪化	1999/3/21 焼石岳他	
8	雪崩	高温日射後の降雪、低気圧による降雪時	2017/3/27 那須岳	8名死亡
9	北海道の夏山	0度近くまで気温が下がることがある	2002/7/11 トムラウシ	9名死亡
10	夏山の風雨	気温あがらず、濡れると疲労凍死の危険	2013/7/23 中央アルプス	4人死亡
11	近郊低山の雪	重い雪で歩行困難湿雪、みぞれで濡れる	2018/3/21 奥多摩三頭山	遭難救助

◇ 県連より

- ・長崎県勤労者山岳連盟 第58期定期総会 場所：長崎市市民会館6階 第9・10会議室
日時：4月16日(日) 13:30~16:00 オレンジHC参加者：理事他2名(懇親会あり)
- ・5月20日(土) 「岩場の歩き方」………計画中(初級レベルの講習)



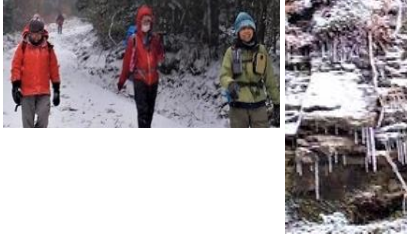
定期トレーニング

コンパニオンレスキュー

実施日	2月25日	ショートローピング	ユマール登攀	上下ハーネス結合	引き上げ確保
場所	運動公園				
参加数	6名				



火曜岩ハイキング

月日	1/10 八天岳	1/17 長崎城山	1/24 経ヶ岳
人数・時間	8名・2.5h	10名・3.5h	7名・3.0h
概要	八天狗鳥居～八天岳～周回～後木場BS～八天狗鳥居。 下山では偶然にも初めての山道を発見。穏やかな登山日和で良い山行だった。	善長谷教会～城山～善長谷教会。 隠れキリシタンと神仏のかかわりが伺える遺物が残る山で、山腹に今も残る地味な教会に趣がある。	中山キャンプ場～中山峠～ソーメン滝～中山峠～中山キャンプ場。 経ヶ岳下のソーメン滝迄向かったがツララは少なかった。気温が低く寒かった。
備考	<p>八天岳</p> 	<p>善長谷教会・マリア像</p> 	<p>中山峠へ向かう ソーメン滝</p> 



水曜登山

月日	12/28 黒髪山	1/11 黒髪山	1/18 経ヶ岳
人数・時間	5名・4.0h	4名・3.0h	7名・5.0h
概要	有田ダムP～英山～英山登山口。 英山へ登山道は、道が荒れていて倒木もあり要注意。英岩までの岩場はロープもあるが慎重に。	黒髪神社登山口～大岩太鼓像～西光密寺～天童岩～英山～黒髪神社登山口。 初めてのコースだが楽。大岩太鼓像に感動した。	金泉寺登山口～金泉寺～西岳～経ヶ岳～西岳～金泉寺登山口。 登山道脇の木々には残雪があり、岩にはツララがあつてまだ春は遠い。
備考	<p>英山への岩場 大イチョウ</p> 	<p>大岩太鼓像</p> 	<p>笹南峰分岐</p> 

R5/2/19(日)立花山(367m)三日月山(272m)松尾山(343m)白岳(315m)

【行程】

8:00 西諫早駅 →9:00 金立 SA→9:45 福岡 IC→10:00 長谷ダム
～10:15 長谷登山口～10:50 我們岳(187m)～11:45 三日月山・昼食～12:15 出発
～13:15 立花山大クス～13:35 立花山～14:05 松尾山～14:20 白岳～14:55 鷲尾大権現/登山口
15:05 帰路→15:30 福岡 IC→16:05 金立 SA→17:10 松原→17:30 西諫早駅

【参加者13名】

今坂、工藤、高森、陣川、中野、高田、堺、福岡、金丸、松岡、大久保、福田、西、

【登山概要】

雨上がりの曇天下、福岡市新宮町と久山町の境界に位置する三日月山、立花山、松尾山、白岳までの縦走周回コースを長谷ダム登山口から出発。始めの急坂を登ると稜線に出る。良く整備された尾根筋を快適に歩く。途中見晴しの良い我們岳 187mに立ち寄る。なだらかな山道を三日月山へ向かう。道幅は広く山道沿いの種々の高木樹やクスの木立の中を進む。登山コースは幾つかあり稜線に取りつく分岐場所には標識が設置され迷う事はない。山頂手前に登山安全のお地蔵様が祀られていた。そこを過ぎ急傾斜を登ると草原状の平坦な山頂に着く。山頂から福岡市内が一望出来る。

昼食後立花山を目指し下山する。木の根が張り出た山道を暫く歩くと、国の特別天然記念物指定のクスノキの原生林群に出会う。巨木の楠に覆われた神秘的な薄暗い山道を進む。その先の分岐横道を少し下って「立花山大クス」を見学。樹齢300年以上、幹周り785cm、樹高30m余りの大きさに圧倒される。パワーを貰って立花山を目指す。山頂までの急登な木階段を登り山頂に着く。博多湾、海の中道公園、福岡市街地の絶景がくっきりと見え感動する。眼下の展望を暫し眺めて松尾山へ尾根道を進む。山道脇の「立花城の石垣跡」を横目に急ぎ松尾山、白岳までの縦走路を進む。急な上り下りしながら松尾山そして白岳に着く。両山も山頂は木立に囲まれて展望は無い。小休憩して竹と樹木が茂る尾根道を下り縦走終点の鷲尾大権現登山口に着いた。

【一言感想】

- ※登山道は整備され悪天候の後だったが歩きやすく巨木の楠群も堪能出来て、歩行時間も4時間程度で程よい疲労感を感じ楽しい山行だった。
- ※心配していた雨にも降られず、大きなクスの木も見られ、頂上からの福岡市の展望も良く、いい登山コースでした。
- ※長谷ダムから三日月山を結ぶ稜線の整備されたルートを楽しい山歩き出来た。巨大クスの木を間近で見るとその大きさに驚き感動した。山頂からの展望も素晴らしく大満足の山行でした。



2月11日(土)から12日(日) 藺牟田池6座縦走と曾木の滝

行程

11日(土) 本諫早出発 6:20 — 人吉球磨スマート IC10:10 — 藺牟田池アクアタイム駐車場 12:15
～愛宕山 12:50～舟見岳經由竜石岳 14:40～山王岳登山口 15:00 — 諏訪温泉旅館 16:30

12日(日) 山王岳登山口 8:20～山王岳 9:05～片城山、飯盛山 11:40～アクアタイム駐車場 12:00
— 曾木の滝到着(昼食、観光)13:20～曾木の滝発 14:20 帰路—九州道—西諫早到着 19:00

参加者

浦田、堺、國分、中野、大久保、工藤、川原、福岡、福田、高田、陣川、田村、鎗水

登山概要

12日(土)

6:20 に本諫早を出発し途中の高速バス停で二人が乗車し、約4時間のバスの旅も車内では今から行く藺牟田池山行に話が弾む。また今回は長丁場のバスの旅となるので予め往復のバスガイド役が決められていて、以前の山行、自分の現役時代の事などに花を咲かせ、バスガイド役のご苦勞有り退屈もせず快適な旅で、あつと言う間に藺牟田池到着となった。



準備体操後、最初の目的地愛宕山に向けて登山開始。いきなりの木段の急登に戸惑いながらも、足元の木の根につまずかないように用心して歩を進める。約40分で愛宕山頂上に着く。親切な地元登山者から記念撮影をしてもらい早々に舟見岳を目指す。いきなり急登に出くわすが全員めげずに13:25頂上へ到着。次は竜石岳だ。ここから今度は木段を延々と下り車道出合へ。さらに尾根まで急登し、14:40 竜石岳に到着。巨石に乗って記念撮影する者もいるが遠慮する者もあり悲喜交々であるが、本日は此处までとバスの待つ山王岳登山口へ向かい約20分で下山完了。諏訪温泉の旅館へ向けてバスを走らせ、程なくして旅館到着。旅館は立派なもので登山者にとっては至れり尽くせり、温泉、料理と言うことなしであった。そのうえクーポンまで頂いた。

入浴後は本日の反省と明日の行動予定、さらに楽器の演奏会を開催し早々に就眠した。



13日(日)

8:20 にバスは山王岳登山口に到着。地元鹿児島島の M さんに先導されながら 8:40 登山開始。最初に急登はあったものの緩やかな下りを歩き、岩場をロープ伝いに登り、藪牟田池の全景が見える展望岩に到着。素晴らしい展望に一同感激。早々に展望岩を切り上げ、ここからは平坦な稜線を歩き山王岳頂上へ。さらに急斜面を木を掴みながら片城分岐へ。岩場のロープを握りの急登が始まり、終わりかなと思ったのもつかの間、さらに急登があり、低山なれど厳しさを痛感する。

片城山からは平坦な登山道を歩き、安堵し息を整えていると今度はクサリ岩場の急下りが出現、なにか長崎あたりの石組みとは違うことを実感する(段差が高く難しい感じ)。



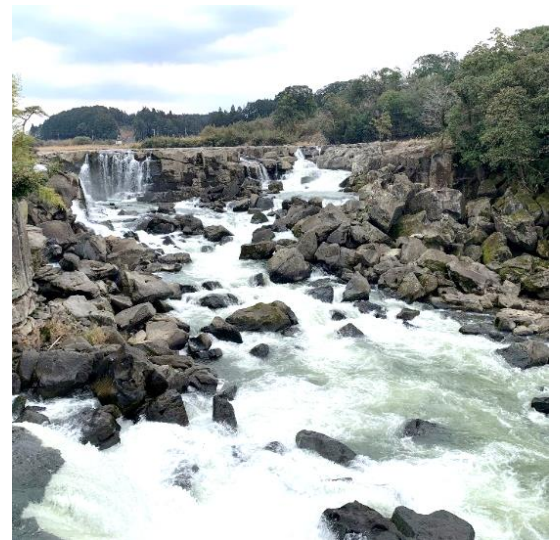
最後の飯盛山アタックか？建物の廃墟(もったいない)を横目に程なく山頂へ。

帰りは直登ルートを下る者と、来た道を帰る者に分かれたが、施設の前で合流し目出度く無事故でゴールイン。今回の藪牟田周回コースは、非常に変化に富んでおり、岩場、急登、急下り有り、ハイキングとしては最高のコースだった。最後に企画された担当者、M さん(土産に頂いた蜂楽まんじゅうはあんこたっぷりでもとてもおいしく頂いた)本当に感謝致します。

帰りは東洋のナイアガラと言われる、伊佐市の曾木の滝と道の駅に立ち寄り、遅めの昼食と大きな滝姿に圧倒された。また前日に頂いたクーポンを使用する為に、あっちこっちと使用可能な店を探し、やっとの思いで皆が 1,000 円のお土産を手に入れたのでした。(笑い・・・)

ちょっと感想

- ・ 藪牟田池巡りは前回計画に上がったものの実施できず、今回は楽しみに参加しました。山々は期待通りの急登、岩登り有り、楽しかったです。
- ・ 池を眺めながら、時には上り坂にフーと言ひ、岩にキューと緊張し、変化に富んだ山行でした。
- ・ 低山ながらも岩登り有りの良いコースでした。夜のフルート、オカリナ演奏も心に沁みました。
- ・ コースが充実していて、珍しい観光地にまで連れて行ってもらう、二日目は三山登頂が思い出になりました。担当者のご苦労に感謝いたします。
- ・ 13 年前に参加した時にべっこうトンボに出会え、今回はインターネットで検索したら、オレンジニュースがヒットし感激です。
- ・ 火口湖を見下ろしながらの山行はとても楽しかったです。
- ・ 車内の雰囲気も良く、山に臨む心構えが充分に出来て充実した山行でした。
- ・ 常に池が見えて安心感があり、ハイキングのすべてのアイテムを含んだ良いコースでした。私たちの町にもこんなコースがあれば日頃のトレーニングには最高でしょうね。



伯耆大山



南西側より見る大山

2023/2/24～26 県連主催冬山訓練

行程

2/24(金)

9:30 西諫早駅—10:40 金立 SA—11:10 高速筑紫野バス停—12:10 布刈 SA
—15:20 安佐 SA—17:30 落合 JCT—17:55 蒜山 IC—18:15 溝口 IC—18:30 旅館

2/25(土)

7:40 旅館～7:55 夏山登山口～10:15/10:45 六合目避難小屋～11:50 頂上避難小屋
～11:50/12:35 弥山～13:20/13:40 六合目避難小屋—(シリシェード)—
～14:40/15:55 元谷(雪上滑落停止訓練)～16:20 大神山神社奥宮～16:50 旅館

2/26(日)

8:00 旅館—9:30 蒜山—10:35 大佐 SA—12:30/12:55 安佐 SA—14:10 鹿野 SA
—15:30 壇ノ浦 SA—17:15 金立 SA—18:30 西諫早駅

概要

大山はまだ雪深し。元谷-2℃/弥山-10℃、七・八合目は風強くホワイトアウトに巻かれ、間が開くとトレースが消えルートが分からなくなる。寒さが厳しく、辛い登りであった。同じ夏道登山道でも、無雪期に比べ体力・技術とも難易度は数段アップする。

下山時は六合目、五合目から雪の斜面をシリシェードや歩きで元谷に下山した。

これは、雪山の楽しさでもある。元谷で滑落停止訓練をしたが、ロープワークに慣れておらず寒さの中でもたついた。反復練習と経験の必要性を感じた。



北側より見る大山



南東より見る大山

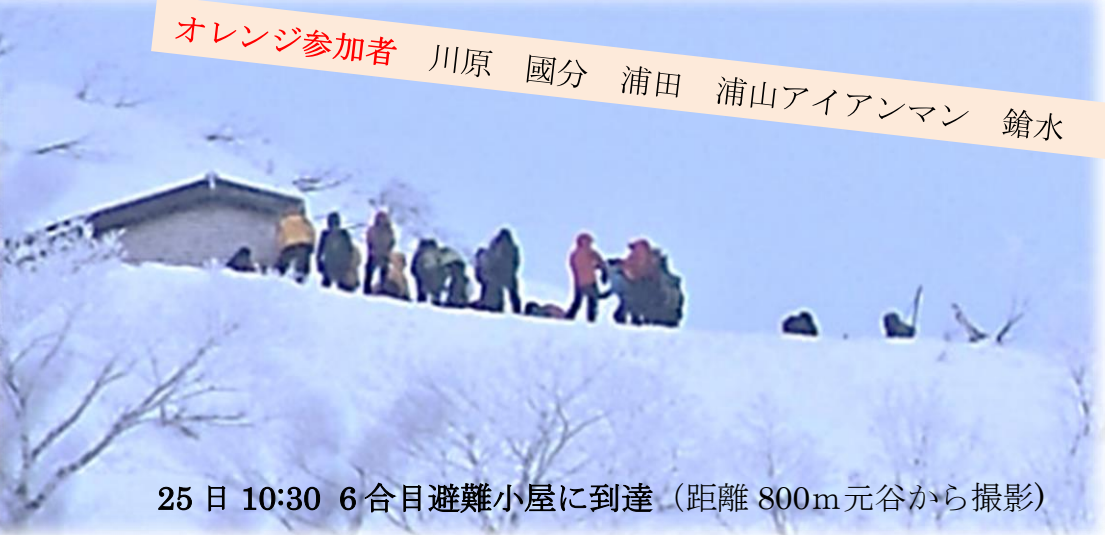


7:40 旅館を出発



14:40~15:55 元谷で滑落停止訓練

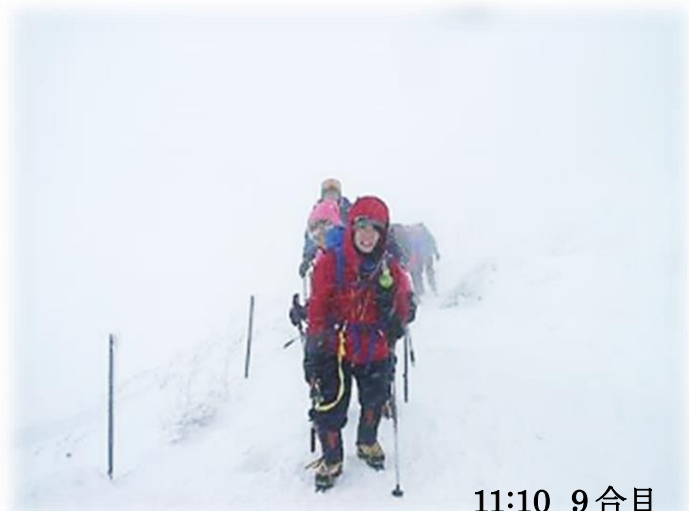
オレンジ参加者 川原 國分 浦田 浦山アイアンマン 鎗水



25日 10:30 6合目避難小屋に到達 (距離 800m元谷から撮影)



7合目にかかる



11:10 9合目



11:50 弥山到着

おれんじカレンダー

4 月			5 月		
1	土	オレンジ HC 定期総会	1	月	
2	日		2	火	火曜岩ハイキング (自主)
3	月		3	水	石鎚山(面河溪ルート)(四国) (技研部)
4	火	火曜岩ハイキング (自主)	4	木	
5	水	水曜登山 (自主)	5	金	
6	木		6	土	ボルダリング、新人教育 No1(技研部)
7	金		7	日	
8	土	ボルダリング (技研部)	8	月	
9	日	釈迦院,大行寺山(3333 段上る(技研部))	9	火	火曜岩ハイキング (自主)
10	月		10	水	水曜登山 (自主)
11	火	火曜岩ハイキング (自主)	11	木	
12	水	水曜登山 (自主)	12	金	新人登山教室(19:00~山川町第 2 自治会室)
13	木		13	土	ボルダリング (技研部)
14	金		14	日	次郎丸岳、太郎丸岳(天草) (山行部)
15	土	コンパニオンレスキュー (技研部)	15	月	
16	日		16	火	火曜岩ハイキング (自主)
17	月		17	水	水曜登山 (自主)
18	火	火曜岩ハイキング (自主)	18	木	
19	水	水曜登山 (自主)	19	金	矢 岳 (雲 仙) (ひまわり部)
20	木		20	土	コンパニオンレスキュー(技研部)
21	金		21	日	
22	土	AMボルダリング (技研部) PM 専門部会・全体集会	22	月	
23	日	古処山・屏山 (自然保護部)	23	火	火曜岩ハイキング (自主)
24	月		24	水	水曜登山 (自主) 全体集会
25	火	火曜岩ハイキング (自主)	25	木	
26	水	水曜登山 (自主)	26	金	
27	木		27	土	AMボルダリング (技研部) PM 専門部会・全体集会
28	金	烽火山 (ひまわり部)	28	日	烏帽子岳：杵島岳(阿蘇、自然保護)
29	土	ボルダリング (技研部)	29	月	
30	日	井原山・雷山 (山行部)	30	火	火曜岩ハイキング (自主)
			31	水	水曜登山 (自主)

川原間所掌⇒火曜岩ハイキング(9:00)、コンパニオンレスキュー(第3土曜 9:30) 緑地公園集合
ボルダリング(コンパニオンレスキュー日を除く毎土曜 13:30、但し第4土曜は午前中)

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	鎗水 律夫
編集責任者	高田啓子
編集委員	工藤学、福田清人、吉原昌弘、中里利行、 西寿男、山下文代、林孝子、福岡正廣
発行年月日	2023/4/1
郵便振込口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.com (一般参加希望者は HP より)